				ロジッ クモデー *** (現在社画 k の関係)		現状			
No.	分野	区分	指標	ルへの掲載	捅	<b>6要(現行計画との関係)</b>	現状値	時点	担当課
1	がん	基盤	がん患者の看取りをする在宅療養診療所及び一般療養診療所 の箇所数		継続		136 か所	R4年度	健康づくり支 援課
2	がん	基盤	県の施設の禁煙実施率		削除	改正健康増進法により行政機関につ いては敷地内禁煙となったため	99.6 %	R3年度	健康づくり支 援課
3	がん	基盤	市町村の施設の禁煙実施率		削除	改正健康増進法により行政機関につ いては敷地内禁煙となったため	99.4 %	R3年度	健康づくり支 援課
4	がん	基盤	医療施設の禁煙実施率		削除	改正健康増進法により病院について は敷地内禁煙となったため	91.3 %	R2年度	健康づくり支 援課
5	がん	基盤	口腔ケアの地域医療連携を行っているがん診療連携拠点病院		継続		10 病院	R4年度	健康づくり支 援課
6	がん	過程	<del>成人</del> 20歳以上の者の喫煙率(男性)		継続		21.9 %	R3年度	健康づくり支 援課
7	がん	過程	成人20歳以上の者の喫煙率(女性)		継続		6.9 %	R3年度	健康づくり支 援課
8	がん	過程	がん検診受診率 ・胃がん検診 (40~69歳)		継続		42. 1 %	R4年度	健康づくり支 援課
9	がん	過程	がん検診受診率 ・肺がん検診 (40~69歳)		継続		52. 2 %	R4年度	健康づくり支 援課
10	がん	過程	がん検診受診率 ・大腸がん検診(40~69歳)		継続		46. 2 %	R4年度	健康づくり支 援課
11	がん	過程	がん検診受診率 ・乳がん検診(40~69歳)		継続		55.0%	R4年度	健康づくり支 援課
12	がん	過程	がん検診受診率 ・子宮頸がん検診(20~69歳)		継続		47. 5 %	R4年度	健康づくり支 援課
13	がん	過程	精密検査受診率 (上記5がんの平均)		継続		83.6 %	R2年度	健康づくり支 援課
14	がん	過程	「がん診療連携拠点病院」及び「千葉県がん診療連携協力病院」における地域医療連携パス(がん)の利用件数		継続		1,424 件	R3年度	健康づくり支 援課
15	がん	過程	「がん診療連携拠点病院」及び「千葉県がん診療連携協力病院」における緩和ケアチームへの年間依頼件数		継続		5,873 件	R4年度	健康づくり支 援課
16	がん	過程	「がん診療連携拠点病院」等におけるがん相談支援センター の相談支援件数		継続		22,049 件	R3年	健康づくり支 援課
17	がん	成果	住まいの場(自宅、老人ホーム等)での死亡割合(悪性新生物)		継続		28. 5 %	R3年度	健康づくり支 援課
18	がん	成果	がんによる75歳未満年齢調整死亡率(人口10万対) (男性)		継続		79.5 %	R3年	健康づくり支 援課

				ロジッ	ㅜ <i>≕</i> ┃		現状		
No.	分野	区分	指標	リクモテ ルへの 掲載	括	爾要(現行計画との関係)	現状値	時点	担当課
19	がん	成果	がんによる75歳未満年齢調整死亡率(人口10万対) (女性)		継続		54.3 %	R3年	健康づくり支 援課
20	脳卒中	基盤	脳梗塞に対する血栓回収療法の実施可能な医療機関数	0	<u>新規</u>	千葉県循環器病対策推進計画との整 合を図るため	31 機関	R3年度	健康福祉政策課
21	脳卒中	基盤	脳梗塞に対するt-PAによる血栓溶解療法を実施している医療 機関数	0	新規	千葉県循環器病対策推進計画との整 合を図るため	44 機関	R3年度	健康福祉政策課
22	脳卒中	基盤	脳卒中患者にリハビリテーションを提供している医療機関数	0	<u>新規</u>	千葉県循環器病対策推進計画との整 合を図るため	191 機関	R3年度	健康福祉政策課
23	脳卒中	基盤	t-PAの静脈内投与について24時間対応可能な病院		削除	千葉県循環器病対策推進計画との整 合を図るため	30 箇所	H29. 6	健康福祉政策課
24	脳卒中	基盤	地域包括ケア病棟の病床数(人口10万対) - ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		削除	千葉県循環器病対策推進計画との整 合を図るため	49.4 床	R5. 4	医療整備課
25	脳卒中	基盤	医療施設従事医師数(神経内科)(人口10万対)		削除	千葉県循環器病対策推進計画との整 合を図るため	3.5 人	R2年度	医療整備課
26	脳卒中	基盤	医療施設従事医師数(脳神経外科)(人口10万対)		削除	千葉県循環器病対策推進計画との整 合を図るため	4.5 人	R2年度	医療整備課
27	脳卒中	基盤	在宅患者訪問診療実施診療所数・病院数	0	継続		765 箇所	R3年	医療整備課
28	脳卒中	基盤	機能強化型訪問看護ステーション数	0	継続		34 箇所	R5. 4月	医療整備課
29	脳卒中	基盤	脳卒中の診療を行う病院における地域医療連携パス (脳卒 中) 導入率	0	継続		50.8 %	H29. 6	健康福祉政策課
30	脳卒中	過程	<del>成人</del> 20歳以上の者の喫煙率(男性)		継続		21.9 %	R3年度	健康づくり支 援課
31	脳卒中	過程	<del>成人</del> 20歳以上の者の喫煙率(女性)		継続		6.9 %	R3年度	健康づくり支 援課
32	脳卒中	過程	<del>成人</del> 1日当たりの食塩摂取量(男性)	0	継続		10.9 g	H27年度	健康づくり支 援課
33	脳卒中	過程	<del>成人</del> 1日当たりの食塩摂取量(女性)	0	継続		9.4 g	H27年度	健康づくり支 援課
34	脳卒中	過程	運動習慣者の割合(4020~64歳)(男性)		継続	健康ちば21との整合を図るため変更	24. 4 %	H27年度	健康づくり支 援課
35	脳卒中	過程	運動習慣者の割合(4020~64歳)(女性)		継続	健康ちば21との整合を図るため変更	22. 5 %	H27年度	健康づくり支 援課
36	脳卒中	過程	運動習慣者の割合(65歳以上)(男性)		削除	健康ちば21との整合を図るため	60. 3 %	H27年度	健康づくり支 援課
	1		1		<u> </u>		<u> </u>		

				ロジッ	c <i>=</i> *		現状		
No.	分野	区分	指標	クモデ ルへの 掲載	括	爾要(現行計画との関係)	現状値	時点	担当課
37	脳卒中	過程	運動習慣者の割合(65歳以上)(女性)		削除	健康ちば21との整合を図るため	41.5 %	H27年度	健康づくり支 援課
38	脳卒中	過程	特定健康診査・特定保健指導の実施率 <u>(全体)</u> (健康診査)		継続		55.8 %	R3年度	健康づくり支 援課
39	脳卒中	過程	特定健康診査・特定保健指導の実施率 <u>(全体)</u> (保健指導)		継続		22.7 %	R3年度	健康づくり支 援課
40	脳卒中	過程	特定健康診査・特定保健指導の実施率(国保)(健康診査)		削除		36.6 %	R3年度	健康づくり支 援課
41	脳卒中	過程	特定健康診査・特定保健指導の実施率(国保)(保健指導)		削除		22. 2 %	R3年度	健康づくり支 援課
42	脳卒中	過程	脳血管疾患における搬送困難事例の割合	0	<u>新規</u>	千葉県循環器病対策推進計画との整 合を図るため	18.1 %	R3年	医療整備課
43	脳卒中	過程	高血圧の改善(収縮期血圧の中央 <u>平均</u> 値の低下 <u>(内服加療中</u> の者を含む))(40歳以上男性)		継続		127.6 mmHg	R2年度	健康づくり支 援課
44	脳卒中	過程	高血圧の改善(収縮期血圧の中央 <u>平均</u> 値の低下 <u>(内服加療中</u> の者を含む)) (40歳以上女性)		継続		123.1 mmHg	R2年度	健康づくり支 援課
45	脳卒中	過程	脂質異常症の減少(LDL-C160mg/dl以上の者( <u>内服加療中の</u> 者を含む))(40歳以上男性)		継続		14.6 %	R2年度	健康づくり支 援課
46	脳卒中	過程	脂質異常症の減少(LDL-C160mg/dl以上の者 <u>(内服加療中の</u> 者を含む)) (40歳以上女性)		継続		14.5 %	R2年度	健康づくり支 援課
47	脳卒中	過程	メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の割合の減少 (男性)	0	<u>新規</u>	千葉県循環器病対策推進計画及び健 康ちば21との整合を図るため	632, 670 人	R3年度	健康づくり支 援課
48	脳卒中	過程	メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の割合の減少 (女性)	0	<u>新規</u>	千葉県循環器病対策推進計画及び健 康ちば21との整合を図るため	192, 522 人	R3年度	健康づくり支 援課
49	脳卒中	過程	<u>脳梗塞に対する血栓回収療法の実施件数</u>	0	<u>新規</u>	千葉県循環器病対策推進計画との整 合を図るため	757 件	R3年度	健康福祉政策課
50	脳卒中	過程	脳梗塞に対するt-paによる血栓溶解療法の実施件数	0	<u>新規</u>	千葉県循環器病対策推進計画との整 合を図るため	702 件	R3年度	健康福祉政策課
51	脳卒中	過程	<u>回復期リハビリテーション病棟における実績指数</u>	0	<u>新規</u>	千葉県循環器病対策推進計画との整 合を図るため	48	R4年7月	健康福祉政策課
52	脳卒中	過程	<u>入退院支援実施件数【調整中】</u>	0	<u>新規</u>	千葉県循環器病対策推進計画との整 合を図るため	件	R3年度	医療整備課
53	脳卒中	過程	受療率(人口10万人対)(脳血管疾患)	0	<u>新規</u>	千葉県循環器病対策推進計画との整 合を図るため	123	R2年	健康福祉政策課
54	脳卒中	成果	脳血管疾患に係る現場活動時間(現場到着~現場出発)	0	<u>新規</u>	千葉県循環器病対策推進計画との整 合を図るため	21.9 分	R3年	医療整備課

				ロジッ			現状		
No.	分野	区分	指標	クモデ ルへの 掲載	挤	6要(現行計画との関係) -	現状値	時点	担当課
55	脳卒中	成果	<u>脳血管疾患に係る平均搬送時間(現場出発~医療機関到着)</u>	0	<u>新規</u>	千葉県循環器病対策推進計画との整 合を図るため	15.8 分	R3年	医療整備課
56	脳卒中	成果	健康寿命(男性)	0	<u>新規</u>	千葉県循環器病対策推進計画との整 合を図るため	72.61 年	R1年	健康づくり支 援課
57	脳卒中	成果	健康寿命(女性)	0	<u>新規</u>	千葉県循環器病対策推進計画との整 合を図るため	75.7 年	R1年	健康づくり支 援課
58	脳卒中	成果	脳血管疾患に係る救急活動時間(救急隊覚知~病院収容)	0	<u>新規</u>	千葉県循環器病対策推進計画との整 合を図るため	47.5 分	R3年	医療整備課
59	脳卒中	成果	退院患者平均在院日数(脳血管疾患)		削除	千葉県循環器病対策推進計画との整 合を図るため	83.3 日	R2年9月	健康福祉政策課
60	脳卒中	成果	在宅等の生活の場に復帰した患者の割合(脳血管疾患)		継続		53. 2 %	R2年	健康福祉政策課
61	脳卒中	成果	脳血管疾患の年齢調整死亡率の減少(人口10万対)(男性)		継続		35. 8 %	H27年度	健康づくり支 援課
62	脳卒中	成果	脳血管疾患の年齢調整死亡率の減少(人口10万対)(女性)		継続		21.7 %	H27年度	健康づくり支 援課
63	心筋梗塞等の 心血管疾患	基盤	<u>救命講習等受講者数</u>	0	<u>新規</u>	千葉県循環器病対策推進計画との整 合を図るため	7.9 万人	R3年	医療整備課
64	心筋梗塞等の 心血管疾患	基盤	<u>心筋梗塞に対する来院後90分以内冠動脈再開通を実施した医療機関数</u>	0	<u>新規</u>	千葉県循環器病対策推進計画との整 合を図るため	38 機関	R3年度	健康福祉政策課
65	心筋梗塞等の 心血管疾患	基盤	大動脈疾患患者に対する手術を実施した医療機関数	0	<u>新規</u>	千葉県循環器病対策推進計画との整 合を図るため	28 機関	R3年度	健康福祉政策課
66	心筋梗塞等の 心血管疾患	基盤	<u>入院心血管疾患リハビリテーションの実施医療機関数</u>	0	<u>新規</u>	千葉県循環器病対策推進計画との整 合を図るため	37 機関	R3年度	健康福祉政策課
67	心筋梗塞等の 心血管疾患	基盤	<u>在宅患者訪問診療実施診療所数・病院数</u>	0	<u>新規</u>	千葉県循環器病対策推進計画との整 合を図るため	765 箇所	R3年	医療整備課
68	心筋梗塞等の 心血管疾患	基盤	機能強化型訪問看護ステーション数	0	<u>新規</u>	千葉県循環器病対策推進計画との整 合を図るため	34 箇所	R5年4月	医療整備課
69	心筋梗塞等の 心血管疾患	基盤	<u>外来心血管疾患リハビリテーションを実施している医療機関</u> 数	0	<u>新規</u>	国の指標例を踏まえ、選定	20 箇所	R3年度	健康福祉政策課
70	心筋梗塞等の 心血管疾患	基盤	医療施設従事医師数(循環器内科)(人口10万対)		削除	千葉県循環器病対策推進計画との整 合を図るため	7 人	R2年度	医療整備課
71	心筋梗塞等の 心血管疾患	基盤	医療施設従事医師数(心臓血管外科)(人口10万対)		削除	千葉県循環器病対策推進計画との整 合を図るため	2.3 人	R2年度	医療整備課
72	心筋梗塞等の 心血管疾患	基盤	<del>心大血管疾患等リハビリテーション(Ⅰ) または(Ⅱ) の届</del> 出 <del>医療機関数</del>		削除	国の指標例を踏まえ、他の指標を選 定	52 施設	R5年4月	健康福祉政策課
				_		1			

				ロジッ			現状		
No.	分野	区分	指標	クモデ ルへの 掲載	括	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	現状値	時点	担当課
73	心筋梗塞等の 心血管疾患	過程	<u>1日当たりの食塩摂取量(男性)</u>	0	<u>新規</u>	千葉県循環器病対策推進計画及び健 康ちば21との整合を図るため	10.9 g	H27年度	健康づくり支 援課
74	心筋梗塞等の 心血管疾患	過程	<u>1日当たりの食塩摂取量(女性)</u>	0	<u>新規</u>	千葉県循環器病対策推進計画及び健 康ちば21との整合を図るため	9.4 g	H27年度	健康づくり支 援課
75	心筋梗塞等の 心血管疾患	過程	<del>成人</del> 20歳以上の者の喫煙率(男性)	0	継続		21.9 %	R3年度	健康づくり支 援課
76	心筋梗塞等の 心血管疾患	過程	成人20歳以上の者の喫煙率(女性)	0	継続		6.9 %	R3年度	健康づくり支 援課
77	心筋梗塞等の 心血管疾患	過程	適正体重を維持している者の増加(肥満BMI25以上、やせ BMI18.5未満の減少) (20~60歳代男性の肥満者割合)		削除	健康ちば21の指標と整合性を図り、 指標をメタボリックシンドローム該 当者及び予備群の数に変更	28.7 %	H27年度	健康づくり支援課
78	心筋梗塞等の 心血管疾患	過程	適正体重を維持している者の増加(肥満BMI25以上、やせ BMI18.5未満の減少) (40~60歳代女性の肥満者割合)		削除	健康ちば21の指標と整合性を図り、 指標をメタボリックシンドローム該 当者及び予備群の数に変更	23. 4 %	H27年度	健康づくり支 援課
79	心筋梗塞等の 心血管疾患	過程	適正体重を維持している者の増加(肥満BMI25以上、やせ BMI18.5未満の減少) (20歳代女性のやせの者の割合)		削除	健康ちば21の指標と整合性を図り、 指標をメタボリックシンドローム該 当者及び予備群の数に変更	16.7 %	H27年度	健康づくり支援課
80	心筋梗塞等の 心血管疾患	過程	運動習慣者の割合( <del>40</del> 20~64歳)(男性)		継続		24. 4 %	H27年度	健康づくり支 援課
81	心筋梗塞等の 心血管疾患	過程	運動習慣者の割合( <del>40</del> 20~64歳)(女性)		継続		22.5 %	H27年度	健康づくり支 援課
82	心筋梗塞等の 心血管疾患	過程	運動習慣者の割合(65歳以上)(男性)		継続		60.3 %	H27年度	健康づくり支 援課
83	心筋梗塞等の 心血管疾患	過程	運動習慣者の割合(65歳以上)(女性)		継続		41.5 %	H27年度	健康づくり支 援課
84	心筋梗塞等の 心血管疾患	過程	特定健康診査・特定保健指導の実施率 <u>(全体)</u> (健康診査)		継続	健康ちば21 (第2次) 中間評価時から国保と全体との記載としたため	55.8 %	R3年度	健康づくり支 援課
85	心筋梗塞等の 心血管疾患	過程	特定健康診査・特定保健指導の実施率 <u>(全体)</u> (保健指導)		継続	健康ちば21 (第2次) 中間評価時から国保と全体との記載としたため	22.7 %	R3年度	健康づくり支 援課
86	心筋梗塞等の 心血管疾患	過程	  特定健康診査・特定保健指導の実施率(国保)(健康診査)  		<u>新規</u>	健康ちば21 (第2次) 中間評価時から国保と全体との記載としたため	36.6 %	R3年度	健康づくり支 援課
87	心筋梗塞等の 心血管疾患	過程	<u>特定健康診査・特定保健指導の実施率(国保)(保健指導)</u>		<u>新規</u>	健康ちば21(第2次)中間評価時から国保と全体との記載としたため	22. 2 %	R3年度	健康づくり支 援課
88	心筋梗塞等の 心血管疾患	過程	<u>心血管疾患における搬送困難事例の割合</u>	0	<u>新規</u>	千葉県循環器病対策推進計画との整 合を図るため	15.0 %	R3年	医療整備課
89	心筋梗塞等の 心血管疾患	過程	高血圧の改善(収縮期血圧の <u>平均</u> 中央値の低下(内服加療中 の者を含む))( <u>40歳以上</u> 男性)		継続	千葉県循環器病対策推進計画及び健 康ちば21との整合を図るため変更	127.6 mmHg	R2年度	健康づくり支 援課

				ロジッ	ェ <i>≕</i> ┃		現状		
No.	分野	区分	指標	クモデ ルへの 掲載	招	商要(現行計画との関係) 	現状値	時点	担当課
90	心筋梗塞等の 心血管疾患	過程	高血圧の改善(収縮期血圧の <u>平均</u> 中央値の低下(内服加療中 の者を含む))( <u>40歳以上</u> 女性)		継続	千葉県循環器病対策推進計画及び健 康ちば21との整合を図るため変更	123.1 mmHg	R2年度	健康づくり支 援課
91	心筋梗塞等の 心血管疾患	過程	脂質異常症の減少(LDL-C160mg/dl以上の者(内服加療中の者を含む))(40歳以上男性)		継続	千葉県循環器病対策推進計画及び健 康ちば21との整合を図るため変更	14.6 %	R2年度	健康づくり支 援課
92	心筋梗塞等の 心血管疾患	過程	脂質異常症の減少(LDL-C160mg/dl以上の者(内服加療中の者を含む))(40歳以上女性)		継続	千葉県循環器病対策推進計画及び健 康ちば21との整合を図るため変更	14.5 %	R2年度	健康づくり支 援課
93	心筋梗塞等の 心血管疾患	過程	メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の <del>割合の</del> 減少 (男性)		継続	国の健康日本21(第三次)の指標に合わせるため変更	632, 670 人	R3年度	健康づくり支 援課
94	心筋梗塞等の 心血管疾患	過程	メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の <del>割合の</del> 減少 (女性)		継続	国の健康日本21(第三次)の指標に合わせるため変更	192, 522 人	R3年度	健康づくり支 援課
95	心筋梗塞等の 心血管疾患	過程	<u>心筋梗塞に対する来院後90分以内冠動脈再開通件数</u>	0	<u>新規</u>	千葉県循環器病対策推進計画との整 合を図るため	38 機関	R3年度	健康福祉政策課
96	心筋梗塞等の 心血管疾患	過程	大動脈疾患患者に対する手術件数	0	<u>新規</u>	千葉県循環器病対策推進計画との整 合を図るため	904 件	R3年度	健康福祉政策課
97	心筋梗塞等の 心血管疾患	過程	<u>入院心血管疾患リハビリテーションの実施件数</u>	0	<u>新規</u>	千葉県循環器病対策推進計画との整 合を図るため	1,671 件	R3年度	健康福祉政策課
98	心筋梗塞等の 心血管疾患	過程	<u>入退院支援実施件数【調整中】</u>	0	<u>新規</u>	千葉県循環器病対策推進計画との整 合を図るため	件	R3年度	医療整備課
99	心筋梗塞等の 心血管疾患	過程	<u>外来心血管疾患リハビリテーションの実施件数</u>	0	<u>新規</u>	千葉県循環器病対策推進計画との整 合を図るため	11,289 件	R3年度	健康福祉政策課
100	心筋梗塞等の 心血管疾患	過程	受療率(人口10万人対) (心疾患(高血圧性のものを除く))	0	<u>新規</u>	千葉県循環器病対策推進計画との整 合を図るため	114	R2年	健康福祉政策課
101	心筋梗塞等の 心血管疾患	成果	<u>心血管疾患に係る現場活動時間</u> (現場到着~現場出発)	0	<u>新規</u>	千葉県循環器病対策推進計画との整 合を図るため	20.7 分	R3年	医療整備課
102	心筋梗塞等の 心血管疾患	成果	<u>心血管疾患に係る平均搬送時間</u> (現場出発~医療機関到着)	0	<u>新規</u>	千葉県循環器病対策推進計画との整 合を図るため	16.5 分	R3年	医療整備課
103	心筋梗塞等の 心血管疾患	成果	健康寿命(男性)	0	<u>新規</u>	千葉県循環器病対策推進計画との整 合を図るため	72.61 年	R1年	健康づくり支 援課
104	心筋梗塞等の 心血管疾患	成果	健康寿命(女性)	0	<u>新規</u>	千葉県循環器病対策推進計画との整 合を図るため	75.7 年	R1年	健康づくり支援課
105	心筋梗塞等の 心血管疾患	成果	<u>心血管疾患に係る救急活動時間</u> (救急隊覚知~病院収容)	0	<u>新規</u>	千葉県循環器病対策推進計画との整 合を図るため	46.6 分	R3年	医療整備課
106	心筋梗塞等の 心血管疾患	成果	心疾患(高血圧性を除く)による年齢調整死亡率(男性)	0	<u>新規</u>	千葉県循環器病対策推進計画との整 合を図るため	81. 0	H27年	健康福祉政策課
107	心筋梗塞等の 心血管疾患	成果	心疾患(高血圧性を除く)による年齢調整死亡率(女性)	0	<u>新規</u>	千葉県循環器病対策推進計画との整 合を図るため	41.3	H27年	健康福祉政策課
			1			1			

				ロジッ			現状		
No.	分野	区分	指標	クモデ ルへの 掲載	括	爾要(現行計画との関係)	現状値	時点	担当課
108	心筋梗塞等の 心血管疾患	成果	退院患者平均在院日数(虚血性心疾患)		削除	千葉県循環器病対策推進計画との整 合を図るため	5.7 日	R2年9月	健康福祉政策課
109	心筋梗塞等の 心血管疾患	成果	在宅等の生活の場に復帰した患者の割合(虚血性心疾患)		継続		95. 2 %	R2年	健康福祉政策課
110	心筋梗塞等の 心血管疾患	成果	急性心筋梗塞 <u>心疾患(高血圧性を除く)</u> の年齢調整死亡率の 減少(人口10万対)(男性)		継続	千葉県循環器病対策推進計画との整 合を図るため	81.0 %	R2年度	健康づくり支 援課
111	心筋梗塞等の 心血管疾患	成果	<u>急性心筋梗塞心疾患(高血圧性を除く)</u> の年齢調整死亡率の 減少(人口10万対)(女性)		継続	千葉県循環器病対策推進計画との整 合を図るため	41.3 %	R2年度	健康づくり支 援課
112	糖尿病	基盤	糖尿病専門外来を有する病院の数	0	継続		92 箇所	H29. 6	健康福祉政策課
113	糖尿病	基盤	糖尿病の重症化予防に取り組む市町村数	0	継続		49 市町村数	R5. 3	保険指導課
114	糖尿病	過程	運動習慣者の割合(40 <u>20</u> ~64歳)(男性)	0	継続		24.4 %	H27年度	健康づくり支 援課
115	糖尿病	過程	運動習慣者の割合(40 <u>20</u> ~64歳)(女性)	0	継続		22. 5 %	H27年度	健康づくり支 援課
116	糖尿病	過程	運動習慣者の割合(65歳以上)(男性)	0	継続		60.3 %	H27年度	健康づくり支 援課
117	糖尿病	過程	運動習慣者の割合(65歳以上)(女性)	0	継続		41.5 %	H27年度	健康づくり支 援課
118	糖尿病	過程	日常生活における歩数(男性)		削除	健康ちば21 (第2次) では20歳以上と、20歳以上のうち70歳以上という指標だったが、国の健康日本21にあわせるため変更	7, 253 歩	H27年度	健康づくり支 援課
119	糖尿病	過程	日常生活における歩数(女性)		削除	健康ちば21 (第2次) では20歳以上と、20歳以上のうち70歳以上という指標だったが、国の健康日本21にあわせるため変更	6, 821 歩	H27年度	健康づくり支 援課
120	糖尿病	過程	日常生活における歩数 (20~64歳) (男性)	0	<u>新規</u>	健康ちば21 (第2次) では20歳以上と、20歳以上のうち70歳以上という指標だったが、国の健康日本21にあわせるため変更	7, 253 歩	H27年度	健康づくり支 援課
121	糖尿病	過程	日常生活における歩数(20~64歳)(女性)	0	<u>新規</u>	健康ちば21 (第2次) では20歳以上と、20歳以上のうち70歳以上という指標だったが、国の健康日本21にあわせるため変更	6,821 歩	H27年度	健康づくり支援課
122	糖尿病	過程	日常生活における歩数 (65歳以上) (男性)	0	<u>新規</u>	健康ちば21 (第2次) では20歳以上と、20歳以上のうち70歳以上という指標だったが、国の健康日本21にあわせるため変更	6, 023 歩	H27年度	健康づくり支 援課

				ロジッ			現状		
No.	分野	区分	指標	クモデ ルへの 掲載	括	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	現状値	時点	担当課
123	糖尿病	過程	日常生活における歩数 (65歳以上) (女性)	0	<u>新規</u>	健康ちば21 (第2次)では20歳以上と、20歳以上のうち70歳以上という指標だったが、国の健康日本21にあわせるため変更	4, 815 歩	H27年度	健康づくり支援課
124	糖尿病	過程	適正体重を維持している者の増加(肥満BMI25以上、やせ BMI18.5未満の減少) (20~60歳代男性の肥満者割合)		削除	健康ちば21の糖尿病指標と整合性を 図り、指標をメタボリックシンド ローム該当者及び予備群の数に変更	28. 7 %	H27年度	健康づくり支 援課
125	糖尿病	過程	適正体重を維持している者の増加(肥満BMI25以上、やせ BMI18.5未満の減少) (40~60歳代女性の肥満者割合)		削除	健康ちば21の糖尿病指標と整合性を 図り、指標をメタボリックシンド ローム該当者及び予備群の数に変更	23. 4 %	H27年度	健康づくり支 援課
126	糖尿病	過程	適正体重を維持している者の増加(肥満BM I 25以上、やせ BM I 18.5未満の減少) (20歳代女性のやせの者の割合)		削除	健康ちば21の糖尿病指標と整合性を 図り、指標をメタボリックシンド ローム該当者及び予備群の数に変更	16.7 %	H27年度	健康づくり支 援課
127	糖尿病	過程	メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の減少(男 性)	0	<u>新規</u>	健康ちば21の糖尿病指標と整合性を 図り、指標をメタボリックシンド ローム該当者及び予備群の数に変更	632, 670 人	R3年度	健康づくり支 援課
128	糖尿病	過程	メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の減少(女 性)	0	<u>新規</u>	健康ちば21の糖尿病指標と整合性を 図り、指標をメタボリックシンド ローム該当者及び予備群の数に変更	192, 522 人	R3年度	健康づくり支 援課
129	糖尿病	過程	20歳以上の者の喫煙率(男性)	0	<u>新規</u>	施策の具体的展開「たばこ対策」に 対応する指標を、健康ちば21と同一 のもので新規記載	21.9 %	R3年度	健康づくり支 援課
130	糖尿病	過程	20歳以上の者の喫煙率(女性)	0	<u>新規</u>	施策の具体的展開「たばこ対策」に 対応する指標を、健康ちば21と同一 のもので新規記載	6.9 %	R3年度	健康づくり支 援課
131	糖尿病	過程	特定健康診査・特定保健指導の実施率 <u>(全体)</u> (健康診査)	0	継続	健康ちば21(第2次)中間評価時から国保と全体との記載としたため	55. 8 %	R3年度	健康づくり支 援課
132	糖尿病	過程	特定健康診査・特定保健指導の実施率 <u>(全体)</u> (保健指導)	0	継続	健康ちば21(第2次)中間評価時から国保と全体との記載としたため	22. 7 %	R3年度	健康づくり支 援課
133	糖尿病	過程	特定健康診査・特定保健指導の実施率(国保)(健康診査)	0	<u>新規</u>	健康ちば21(第2次)中間評価時から国保と全体との記載としたため	36.6 %	R3年度	健康づくり支 援課
134	糖尿病	過程	特定健康診査・特定保健指導の実施率(国保)(保健指導)	0	<u>新規</u>	健康ちば21(第2次)中間評価時から国保と全体との記載としたため	22. 2 %	R3年度	健康づくり支 援課
135	糖尿病	過程	特定健診での受診勧奨により実際に医療機関へ受診した糖尿 病未治療患者の割合	0	<u>新規</u>	国指針に掲載され、健診後の受診勧 奨や実際に医療機関を受診したかの フォローの重要性を本文に新規記載 しており、対応する指標として新規 掲載	国により年内公 表予定		健康づくり支援課
136	糖尿病	過程	糖尿病の診療を行う病院における糖尿病連携手帳又は地域医療連携パス (糖尿病) の使用率	0	継続		45.7 %	H29. 6	健康福祉政策課
137	糖尿病	過程	治療継続者の割合の増加	0	継続		88.8 %	R3年度	健康づくり支 援課

				ロジッ クモデ			現状		
No.	分野	区分	指標	ルへの 掲載	赭	語要(現行計画との関係)	現状値	時点	担当課
138	糖尿病	成果	糖尿病性腎症による年間新規透析導入患者数の減少	0	継続		806 人	R3年末	健康づくり支 援課
139	糖尿病	成果	血糖コントロール指標におけるコントロール不良者の割合の 減少(40~74歳男性)	0	継続		2. 1 %	R2年度	健康づくり支 援課
140	糖尿病	成果	血糖コントロール指標におけるコントロール不良者の割合の 減少(40~74歳女性)	0	継続		0.8 %	R2年度	健康づくり支 援課
141	糖尿病	成果	糖尿病治療を主にした入院の発生 (DKA・昏睡・低血糖など に限定) (糖尿病患者1年当たり)	0	<u>新規</u>	国指針に掲載され、合併症及び重症 化の抑制に対応した指標として新規 追加	国により年内公 表予定		健康福祉政策 課・健康づく り支援課
142	糖尿病	成果	糖尿病の年齢調整死亡率の減少(人口10万対)(男性)	0	<u>新規</u>	国指針に掲載され、他疾患との整合性を図る観点から、糖尿病でも年間 調整死亡率を新規掲載	4.8 %		健康福祉政策 課・健康づく り支援課
143	糖尿病	成果	<u>糖尿病の年齢調整死亡率の減少(人口10万対)(女性)</u>	0	<u>新規</u>	国指針に掲載され、他疾患との整合性を図る観点から、糖尿病でも年間調整死亡率を新規掲載	2.3 %	H27年度	健康福祉政策 課・健康づく り支援課
144	精神疾患(認 知症を除く)	基盤	精神科救急基幹病院数	0	継続		14 病院	令和5年7月	障害者福祉推 進課
45	精神疾患(認 知症を除く)	基盤	精神科救急身体合併症に対応できる施設数	0	継続		5 病院	令和5年7月	障害者福祉推 進課
146	精神疾患(認 知症を除く)	基盤	救命救急センターで「精神科」を有する施設数	0	継続		14 箇所	R5年4月	障害者福祉推 進課
47	精神疾患(認 知症を除く)	基盤	治療抵抗性統合失調症治療薬を精神病床の入院で使用した病 院数	0	継続		22 病院	R2年度	障害者福祉推 進課
48	精神疾患(認 知症を除く)	基盤	精神疾患の訪問看護を実施している医療機関数 (認知症を除く)	0	継続		154 施設	R2年度	障害者福祉推 進課
49	精神疾患(認 知症を除く)	基盤	グループホーム等の定員 (グループホーム、生活ホーム、ふれあいホームの定員)		継続		Α		障害福祉事業 課
150	精神疾患(認 知症を除く)	過程	精神保健福祉センターにおける訪問指導の延人数	0	継続		41 人	令和4年度	<del>四百日恒世</del> 進課(精神保 健福祉セン
151	精神疾患(認 知症を除く)	過程	地域移行・定着協力病院数	0	継続		25 病院	令和5年4月	障害者福祉推 進課
52	精神疾患(認 知症を除く)	過程	統合失調症患者における治療抵抗性統合失調症治療薬の使用 率	0	継続		1.18 %	R2年度	障害者福祉推 進課
53	精神疾患(認 知症を除く)	過程	精神疾患の訪問看護利用者数(認知症を除く)	0	継続		4, 767 人	R2年度	障害者福祉推 進課
54	精神疾患(認 知症を除く)	成果	退院患者平均在院日数(精神病床)	0	継続		311.3 日	令和3年度	障害者福祉推 進課
55	精神疾患(認 知症を除く)	成果	精神障害者の精神病床から退院後 1 年以内の地域での平均生 活日数	0	<u>新規</u>	国の指針で重要アウトカム指標に位 置付けられている	330.0 日	令和元年度	障害者福祉推 進課

				ロジッ			現状		
No.	分野	区分	指標	クモデ ルへの 掲載	护	i要(現行計画との関係)	現状値	時点	担当課
156	精神疾患(認 知症を除く)	成果	在院期間5年以上、かつ65歳以上退院者数(1月当たりの退院 者数)	0	継続		15 人	R4年6月	障害者福祉推 進課
157	精神疾患(認 知症を除く)	成果	精神病床における急性期(3ヵ月未満)入院 <del>需要(</del> 患者数 <del>)</del>	0	継続		1,907 人	R4年6月末	障害者福祉推 進課
158	精神疾患(認 知症を除く)	成果	精神病床における回復期 (3ヵ月以上1年未満) 入院 <del>需要 (</del> 患者数 <del>)</del>	0	継続		1,317 人	R4年6月末	障害者福祉推 進課
159	精神疾患(認 知症を除く)	成果	精神病床における慢性期(1年以上)入院 <del>需要(</del> 患者数 <del>)</del>	0	継続		6, 461 人	R4年6月末	障害者福祉推 進課
160	精神疾患(認 知症を除く)	成果	<u>精神病床における急性期入院患者数(65歳以上)</u>	0	<u>新規</u>	国の指針で重要アウトカム指標に位 置付けられている	704 人	R4年6月末	障害者福祉推 進課
161	精神疾患(認 知症を除く)	成果	<u>精神病床における回復期入院患者数(65歳以上)</u>	0	<u>新規</u>	国の指針で重要アウトカム指標に位 置付けられている	636 人	R4年6月末	障害者福祉推 進課
162	精神疾患(認 知症を除く)	成果	精神病床における慢性期入院患者数 (65歳以上)	0	継続		3, 797 人	R4年6月末	障害者福祉推 進課
163	精神疾患(認 知症を除く)	成果	  精神病床における慢性期入院患者数 (65歳未満患者数) 		削除	指標No. 101と102の差分で把握可能なため	2,664 人	R4年6月末	障害者福祉推 進課
164	精神疾患(認 知症を除く)	成果	精神病床における入院需要(患者数)		削除	指標No. 99~101の合計で把握可能な ため	9,685 人	R4年6月末	障害者福祉推 進課
165	精神疾患(認 知症を除く)	成果	地域移行に伴う基盤整備量(利用者数)		削除	進捗管理が困難	-		障害者福祉推 進課
166	精神疾患(認 知症を除く)	成果	   <del>地域移行に伴う基盤整備量(65歳以上利用者数) </del> 		削除	進捗管理が困難	-		障害者福祉推 進課
167	精神疾患(認 知症を除く)	成果	   <del>地域移行に伴う基盤整備量(65歳未満利用者数) </del> 		削除	進捗管理が困難	-		障害者福祉推 進課
168	精神疾患(認 知症を除く)	成果	<u>精神病床における新規入院患者数の平均在院日数</u>	0	<u>新規</u>	国の指針で重要アウトカム指標に位 置付けられている	104.8 日	令和元年度	障害者福祉推 進課
169	精神疾患(認 知症を除く)	成果	精神病床における入院後3か月時点の退院率	0	継続		67. 2 %	令和元年度	障害者福祉推 進課
170	精神疾患(認 知症を除く)	成果	精神病床における入院後6か月時点の退院率	0	継続		81.6 %	令和元年度	障害者福祉推 進課
171	精神疾患(認 知症を除く)	成果	精神病床における入院後1年時点の退院率	0	継続		88.4 %	令和元年度	障害者福祉推 進課
172	精神疾患(認 知症を除く)	成果	自殺死亡率(人口10万対)	0	継続		16. 4	R1~R3平均	健康づくり支 援課
173	認知症	基盤	認知症サポーター数		継続		604, 231 人(累計)	R5. 3. 31	高齢者福祉課
	-							-	

				ロジックモデ			現状		
No.	分野	区分	指標	ルへの 掲載	搪	i要(現行計画との関係)	現状値	時点	担当課
174	認知症	基盤	  認知症サポート医の養成人数 		継続		600 人(累計)	R5. 3. 31	高齢者福祉課
175	認知症	基盤	かかりつけ医認知症対応力向上研修修了者数		継続		1,423 人(累計)	R5. 3. 31	高齢者福祉課
176	認知症	基盤	病院勤務の医療従事者向け認知症対応力向上研修修了者数		継続		4,581 人(累計)	R5. 3. 31	高齢者福祉課
177	認知症	基盤	歯科医師認知症対応力向上研修修了者数		継続		1,177 人(累計)	R5. 3. 31	高齢者福祉課
178	認知症	基盤	薬剤師認知症対応力向上研修修了者数		継続		1,702 人(累計)	R5. 3. 31	高齢者福祉課
179	認知症	基盤	看護職員認知症対応力向上研修修了者数		継続		435 人(累計)	R5. 3. 31	高齢者福祉課
180	認知症	基盤	認知症介護実践研修受講者数(千葉市を除く。)		継続		5,454 人(累計)	R4年度	健康福祉指導課
181	認知症	過程	「千葉県オレンジ連携シート」の使用枚数		継続		947 枚	R5. 3. 31	高齢者福祉課
182	認知症	成果	認知症対応型共同生活介護(グル-プホーム)利用者実績 (地域密着型サービスの利用状況)		継続		7,183 人/月	R4年度	高齢者福祉課
183	認知症	成果	特別養護老人ホーム利用者実績(施設サービス利用状況)		継続		26,043 人/月	R4年度	高齢者福祉課
184	認知症	成果	認知症対応型通所介護利用実績(地域密着型サービス利用状 況)		継続		11,236 回/月	R4年度	高齢者福祉課
185	救急医療	基盤	救命講習等受講者数	0	継続		7.9 万人(約)	R4年	医療整備課
186	救急医療	基盤	<u>ドクターカーを配備している医療機関数</u>		削除	国の基本方針に特に記載がないため。	37 箇所	R4. 4	医療整備課
187	救急医療	基盤	上記、ドクターカーを配備している医療機関数のうち、救命 救急センター数		削除	国の基本方針に特に記載がないため。	12 箇所	R4. 4	医療整備課
188	救急医療	基盤	医療施設従事医師数(救急科)(人口10万対)	0	継続		3.6 人	R2	医療整備課
189	救急医療	基盤	救命救急センター設置数		削除	概ね必要な水準を既に満たしている と思料されるため	14 箇所	R4	医療整備課
190	救急医療	過程	心肺停止状態で見つかった者(心原性、一般市民の目撃者有り)のAED使用率	0	継続		5.3 %	R3年	医療整備課
191	救急医療	過程	救急隊と医療機関との平均交渉回数		削除	国の基本方針に特に記載がないため	1.48 回/月	R3	医療整備課
	·			_				-	

No.	/\ m2			ロジッ				現状		
	分野	区分	指標	クモデ ルへの 掲載	护	頭要(現行計画との関係)	現状何	直	時点	担当課
192 排	救急医療	過程	搬送困難事例(受入交渉回数 5 回以上又は現場滞在時間 3 0 分以上)の割合		削除	国の基本方針に特に記載がないため	22. 7	%	R3	医療整備課
193 非	救急医療	成果	心肺停止状態で見つかった者(心原性、一般市民の目撃者あり)の1ヶ月後の生存率	0	継続		12. 4	%	R3年	医療整備課
194 非	救急医療	過程	救急隊覚知からの医療機関等収容所要時間の平均	0	継続		49. 7	分	R3	医療整備課
195 排	救急医療	過程	<u>救命救急センター充実段階評価S割合</u>	0	<u>新規</u>	国の指標例に記載があるため	28. 6	%	R4年	医療整備課
196 非	救急医療	基盤	情報提供の対象となっているAEDの台数	0	<u>新規</u>	県民が情報収集可能な、使用できる AEDの台数は、AEDの使用に関係する と思料されるため	7, 790	台	R5年10月	医療整備課
197 排	救急医療	基盤	<u>救急安心電話相談件数</u>	0	<u>新規</u>	救急車の適正利用につながると思料   されるため	38, 353	件	R4	医療整備課
198	救急医療	基盤	<u>ドクターへリの出動件数</u>	0	<u>新規</u>	重症患者の搬送時間短縮につながる と思料されるため	1, 531	0	R4	医療整備課
199   非	救急医療	基盤	<u>ちば救急医療ネットの検索機能実施件数</u>	0	<u>新規</u>	救急隊と医療機関の搬送調整短縮に つながると思料されるため	77, 799	件	R4	医療整備課
	災害時におけ る医療	基盤	災害派遣医療チーム(DMAT) ・チームの数	0	継続		52	チーム	R5. 4	医療整備課
	災害時における医療	基盤	災害派遣医療チーム(DMAT) ・構成員の数	0	継続		314	名	R5. 4	医療整備課
	災害時における医療	基盤	災害派遣医療チーム(CLDMAT)・チームの数	0	継続		16	チーム	R5. 4	医療整備課
	災害時におけ る医療	基盤	災害派遣医療チーム(CLDMAT)・構成員の数	0	継続		166	名	R5. 4	医療整備課
	災害時におけ る医療	基盤	災害派遣精神医療チーム(DPAT)のチーム数	0	継続		56	チーム	R5. 4	医療整備課
	災害時におけ る医療	基盤	災害派遣精神医療チーム(DPAT)の構成員数	0	継続		170	名	R5. 4	医療整備課
	災害時におけ る医療	基盤	多数傷病症に対応可能なスペースを有する災害拠点病院の割 合	0	<u>新規</u>	国の基本方針指標例に記載があり、 災害対応のインフラ資料として重要 と思料されるため	92. 6	%	R5	医療整備課
	災害時における医療	基盤	<u>災害医療コーディネーターの任命者数</u>	0	<u>新規</u>	国の基本方針指標例に記載があり、 災害対応のインフラ資料として重要 と思料されるため	13	名	R4	医療整備課
	災害時におけ る医療	基盤	地域災害医療コーディネーターの任命者数	0	<u>新規</u>	国の基本方針指標例に記載があり、 災害対応のインフラ資料として重要 と思料されるため	48	名	R4	医療整備課

				ロジックモデ			現状		
No.	分野	区分	指標	ルへの 掲載	括	簡要(現行計画との関係)	現状値	時点	担当課
209	災害時におけ る医療	基盤	医療施設(病院)の耐震化率	0	<u>新規</u>	国の基本方針指標例に記載があり、 災害対応のインフラ資料として重要 と思料されるため	79.7 %	R4	医療整備課
210	災害時におけ る医療	基盤	<u>浸水想定区域や津波災害警戒区域に所在する病院</u> において浸水対策を講じている病院の割合	0	<u>新規</u>	国の基本方針指標例に記載があり、 災害対応のインフラ資料として重要 と思料されるため	%		医療整備課
211	災害時におけ る医療	基盤	<u>広域災害・救急医療情報システム(EMIS)への登</u> <u>録率</u>	0	<u>新規</u>	国の基本方針指標例に記載があり、 重点指標のため。	%		医療整備課
212	災害時におけ る医療	基盤	人工透析を必要とする慢性病疾患患者を受け入れ る体制のある災害拠点病院の割合	0	<u>新規</u>	災害対応のインフラ資料として重要 と思料されるため	74. 04 %	R5	医療整備課
213	災害時におけ る医療	過程	<u>被災した状況を想定した災害実働訓練を実施した病院の割合</u>	0	<u>新規</u>	国の基本方針指標例に記載があり、 重点指標のため。	%		医療整備課
214	新興感染症発 生・まん延時に おける医療	基盤	各協定締結医療機関(発熱外来)の機関数 	0	<u>新規</u>	新規の事業のため			疾病対策課
215	新興感染症発 生・まん延時に おける医療	基盤	<u>自宅・宿泊療養施設・高齢者施設での療養者等へ医療を提供する機関数</u>	0	<u>新規</u>	新規の事業のため			疾病対策課
216	新興感染症発 生・まん延時に おける医療	基盤	<u>後方支援の協定を締結する医療機関数</u>	0	<u>新規</u>	新規の事業のため			疾病対策課
217	新興感染症発 生・まん延時に おける医療	基盤	派遣可能な人数	0	<u>新規</u>	新規の事業のため			疾病対策課
218	新興感染症発生・まん延時における医療	基盤	協定締結医療機関(病院・診療所・訪問看護事業所)のう ち、当該施設の使用量2カ月分以上にあたる個人防護具の備 蓄を行う機関の割合	0	<u>新規</u>	新規の事業のため			疾病対策課
219	新興感染症発 生・まん延時に おける医療	過程	協定締結医療機関(人材派遣)において年1回以上研修及び 訓練の実施又は参加した割合	0	<u>新規</u>	新規の事業のため			疾病対策課
220	周産期医療	基盤	分娩実施施設数(15~49歳女子人口10万対)	0	継続		25.0 箇所	R3	医療整備課
221	周産期医療	基盤	周産期母子医療センターの数	0	継続		12 箇所	R5. 4	医療整備課
222	周産期医療	基盤	NICUの整備数 ※診療報酬対象	0	継続		147 床	R4	医療整備課
223	周産期医療	基盤	周産期母子医療センター及び連携病院と救命救急センターの 併設数		削除	概ね必要な水準を既に満たしている と思料されるため	12 箇所	R5. 4	医療整備課
224	周産期医療	基盤	医療施設従事医師数(産科・産婦人科)(15-49歳女子人口 10万対)	0	継続		35.6 人	R2	医療整備課
225	周産期医療	基盤	就業助産師数(出生千対)	0	継続		39.4 人	R2	医療整備課

				ロジックモデ			現状			
No.	分野	区分	指標	ルへの 掲載	括	新要(現行計画との関係) 	現状化	直	時点	担当課
226	周産期医療	基盤	搬送コーディネート件数における妊産婦入院調整業務支援シ ステムの利用割合	0	<u>新規</u>	ICTを活用したハイリスク妊産婦の円滑な搬送の動向を把握できる数値のため	91. 7	%	R4	医療整備課
227	周産期医療	基盤	<u>災害時小児周産期リエゾン任命者数</u>		<u>新規</u>	国の基本方針指標例に記載があり、重点指標のため。	12	人	R4	医療整備課
228	周産期医療	過程	  分娩数に対する病院間搬送件数の割合(分娩数千対) 	0	継続		25. 1	人	R3	医療整備課
229	周産期医療	過程	  産後訪問指導を受けた割合 	0	継続		42. 5	%	R3	医療整備課・ 児童家庭課
230	周産期医療	成果	全出生中の低出生体重児の割合		削除	高齢出産割合の増加傾向により、県 の施策にかかわらず数値の増が見込 まれ、指標に設定する意味がなく なったため	8. 9	%	R3	医療整備課• 児童家庭課
231	周産期医療	成果	妊産婦死亡率(出生10万対)	0	継続		9.8	%	R2	医療整備課
232	周産期医療	成果	新生児死亡率(出生千対) 	0	継続		0.8	%	R3	医療整備課
233	周産期医療	成果	  周産期死亡率 ・後期死産率(出産千対) 	0	継続		2.7	%	R3	医療整備課
234	周産期医療	成果	周産期死亡率・早期新生児死亡率(出生千対)	0	継続		0.6	%	R3	医療整備課
235	小児医療	基盤	医療施設従事医師数(小児科)(15歳未満人口10万対)	0	継続		95. 5	Д	R2	医療整備課
236	小児医療	基盤	小児救急電話相談件数	0	継続		48, 430	件	R4	医療整備課
237	小児医療	基盤	小児初期救急センターの数	0	<u>新規</u>	国の基本方針指標例に記載があり、 小児医療のインフラ資料として重要 と思料されるため	720	箇所	R4	医療整備課
238	小児医療	基盤	二次以上の小児救急患者に対応できる医療機関数	0	<u>新規</u>	国の基本方針指標例に記載があり、 小児医療のインフラ資料として重要 と思料されるため	33	箇所	R4	医療整備課
239	小児医療	基盤	三次以上の小児救急患者に対応できる医療機関数	0	<u>新規</u>	国の基本方針指標例に記載があり、 小児医療のインフラ資料として重要 と思料されるため	8	箇所	R4	医療整備課
240	小児医療	基盤	PICUの病床数	0	<u>新規</u>	国の基本方針指標例に記載があり、 小児医療のインフラ資料として重要 と思料されるため	25	床	R4	医療整備課
241	小児医療	基盤	<u>災害時小児周産期リエゾン任命者数</u>		<u>新規</u>	国の基本方針指標例に記載があり、重点指標のため。	12	Д	R4	医療整備課
242	小児医療	過程	救急搬送件数(小児患者)	0	<u>新規</u>	小児医療のインフラ資料として重要 と思料されるため	2, 612	件	R3	医療整備課

				ロジックモデ				現状		10 V =0
No.	分野	区分	指標	ルへの 掲載	括	商要(現行計画との関係) 	現状個	直	時点	担当課
243	小児医療	過程	搬送困難事例(受入交渉回数5回以上または現場滞在時間3 0分以上)	0	<u>新規</u>	国の基本方針指標例に記載があり、 重点指標のため。	195	件	R3	医療整備課
244	小児医療	成果	乳児死亡率(出生千対)	0	継続		2. 10	Д.	R3	医療整備課
245	小児医療	成果	乳幼児(5歳未満)死亡率	0	継続		0. 50	Д.	R2	医療整備課
246	小児医療	成果	小児(15歳未満)の死亡率	0	継続		0. 19	Д.	R2	医療整備課
247	在宅医療の推 進	基盤	入退院支援を実施している診療所数・病院数 (入退院支援加算1、2を算定した医療機関数)		継続		141	箇所	R3年	医療整備課
248	在宅医療の推 進	基盤	在宅患者訪問診療実施診療所数・病院数		継続		765	箇所	R3年	医療整備課
249	在宅医療の推 進	基盤	在宅患者訪問診療(居宅)実施歯科診療所数		継続		433	箇所	R2年	健康づくり支 援課
250	在宅医療の推 進	基盤	在宅患者訪問薬剤管理指導料届出薬局数		継続		2, 267	箇所	R5年7月	薬務課
251	在宅医療の推 進	基盤	訪問看護ステーション数		継続		454	箇所	R3. 10月	医療整備課 高齢者福祉課
252	在宅医療の推 進	基盤	往診を実施している診療所・病院		継続		1, 043	箇所	R3年	医療整備課
253	在宅医療の推 進	基盤	在宅療養後方支援病院数		継続		18	箇所	R5. 5月	医療整備課
254	在宅医療の推 進	基盤	機能強化型訪問看護ステーション数		継続		34	箇所	R5. 5月	医療整備課
255	在宅医療の推 進	基盤	在宅看取り(ターミナルケア)実施診療所・病院数		継続		924	箇所	R3年	医療整備課
256	在宅医療の推 進	過程	在宅患者訪問診療件数		継続		808, 997	件	R3年	医療整備課
257	在宅医療の推 進	過程	訪問看護ステーションの利用者数		継続		32, 768	人/月	R3. 9月	医療整備課
258	在宅医療の推 進	過程	在宅での看取り数		継続		6, 771	件	R3年	医療整備課
259	在宅医療の推 進	成果	介護が必要になっても自宅や地域で暮らし続けられると感じられる県民の割合		継続		31. 6	%	R4年	高齢者福祉課
260	外来医療提供 体制確保	過程	「かかりつけ医」の定着度		継続		64. 1	%	R4年度	医療整備課

				ロジックモデ				現状		
No.	分野	区分	指標	ルへの掲載	搪	i要(現行計画との関係)	現状	値	時点	担当課
261	外来医療提供 体制確保	基盤	救急安心電話相談事業の対応件数		継続		38, 253	件	R4	医療整備課
262	外来医療提供 体制確保	基盤	在宅患者訪問診療実施診療所数・病院数		継続		765	箇所	R3年	医療整備課
263	外来医療提供 体制確保	基盤	定期予防接種率(A類疾病)		継続			%	R4年度	疾病対策課
264	外来医療提供 体制確保	基盤	定期予防接種率(B類疾病)		継続			%	R4年度	疾病対策課
265	外来医療提供 体制確保	基盤	医療機器の共同利用を受け入れている医療機関数		継続			施設	R5年度	医療整備課
266	外来医療提供 体制確保	基盤	他医療機関の医療機器を共同利用している医療機関数		継続			施設	R5年度	医療整備課
267	医師確保	基盤	医療施設従事医師数		継続		12, 935	Д	R2年度	医療整備課
268	医師確保	基盤	医療施設従事医師数(千葉)		継続		2, 812	Д	R2年度	医療整備課
269	医師確保	基盤	医療施設従事医師数(東葛南部)		継続		3, 312	Д	R2年度	医療整備課
270	医師確保	基盤	医療施設従事医師数(東葛北部)		継続		2, 599	Д	R2年度	医療整備課
271	医師確保	基盤	医療施設従事医師数(印旛)		継続		1, 530	Д	R2年度	医療整備課
272	医師確保	基盤	医療施設従事医師数(香取海匝)		継続		532	Д	R2年度	医療整備課
273	医師確保	基盤	医療施設従事医師数(山武長生夷隅)		継続		545	Д	R2年度	医療整備課
274	医師確保	基盤	医療施設従事医師数(安房)		継続		598	Д	R2年度	医療整備課
275	医師確保	基盤	医療施設従事医師数(君津)		継続		506	Д	R2年度	医療整備課
276	医師確保	基盤	医療施設従事医師数(市原)		継続		501	Д	R2年度	医療整備課
277	医師確保	基盤	地域A群で勤務する修学資金受給者数		削除	地域A群の対象を拡大するため、現状値との比較ができないため、医師数の増加に含める。	37	人年	R5年度	医療整備課
278	医師確保	基盤	修学資金貸付を受けた医師数		<u>新規</u>	修学資金貸付を受けた医師の増加に より内の医師数の増加が見込まれる ため。	283	人年	R5. 4	医療整備課

				ロジッ			現状		
No.	分野	区分	指標	クモデ ルへの 掲載	括	i要(現行計画との関係)	現状値	時点	担当課
279	医師確保	基盤	  県内専門研修基幹施設における専攻医採用数 		継続		397 人	R5. 3	医療整備課
280	医師確保	基盤	客観的な労働時間管理方法により <u>副業・兼業先を含む</u> 医師の 労働時間を把握している病院数		継続	自院での労働時間の把握は全医療機関で行われていることが当然であり 指標になじまないため、代替指標により医師の働き方改革の推進状況を 把握。	157 病院	R5. 7	医療整備課
281	医師確保	基盤	タスク・シフティング、タスク・シェアリングの促進(医師 事務作業補助者体制加算の施設基準に適合しているものとし て厚生局に届け出ている施設数)		削除	施設基準を踏まえると現状値以上の 増加が見込めないため。	116 施設	R5. 6	医療整備課
282	医師確保	過程	「かかりつけ医」の定着度		継続		64.1 %	R4年度	医療整備課
283	医師確保	基盤	小児救急電話相談事業		継続		48, 430 件	R4	医療整備課
284	医師確保	基盤	救急安心電話相談事業		継続		38, 253 件	R4	医療整備課
285	医師確保	基盤	  分娩千件当たり <u>医療施設従事分娩取扱</u> 医師数 <u>(産科・産婦人</u>  科 <u>)</u>		継続	産科の医師偏在指標が、分娩取扱医 師偏在指標に変更されたため。	9.5人	R2年度	医療整備課
286	医師確保	基盤	15歳未満人口10万人当たり医療施設従事医師数(小児科)		継続		95.4人	R2年度	医療整備課
	地域医療の機 能分化と連携	_	「かかりつけ医」の定着度		継続		64. 1 %	R4年度	医療整備課
	地域医療の機 能分化と連携	_	「かかりつけ歯科医」の定着度		継続		70. 6 %	R4年度	医療整備課
	地域医療の機 能分化と連携	_	「かかりつけ薬剤師・薬局」の定着度		継続		47.1 %	R4年度	薬務課
290	地域医療の機 能分化と連携	_	医療機関の役割分担についての認知度		継続		48.4 %	R5年度	医療整備課
291	地域医療の機 能分化と連携	_	小児救急電話相談件数		継続		48, 430 件	R4	医療整備課
	各種疾病対策 の推進	_	結核羅患率(人口10万対)		継続		7. 9	R4年度	疾病対策課
	各種疾病対策 の推進	_	接触者健診受診率		継続		97.5 %	R4年度	疾病対策課
	各種疾病対策 の推進	_	結核病床保有病院(モデル病床を含む)の確保		継続		9 医療圏	R4年度	疾病対策課
	各種疾病対策 の推進	_	いきなりエイズ率		継続		53.8 %	R4年	疾病対策課

				ロジックモデ			現状		
No.	分野	区分	指標	ルへの 掲載	揺	爾要(現行計画との関係)	現状値	時点	担当課
296	各種疾病対策 の推進	_	感染症外来協力医療機関の施設整備数		継続		20 箇所	R4年度末	疾病対策課
297	各種疾病対策 の推進	_	定期予防接種率(A類疾病)		継続		※11月頃判明予 定	R4年度	疾病対策課
298	各種疾病対策 の推進	_	定期予防接種率(B類疾病)		継続		※11月頃判明予 定	R4年度	疾病対策課
299	各種疾病対策 の推進	_	肝炎ウイルス検査件数(B型・C型)県・市町村実施分		継続		116, 336 件	R4年度	疾病対策課
300	各種疾病対策 の推進	_	むし歯のない3歳児の割合		継続		90.7 %	R3年	健康づくり支 援課
301	各種疾病対策 の推進	_	12歳児(中1)の平均むし歯本数		継続		0.53 本	R3年	健康づくり支 援課
302	各種疾病対策 の推進	_	80歳以上で20歯以上自分の歯を有する者の割合		継続		51.6 %	R3年	健康づくり支 援課
303	各種疾病対策 の推進	_	進行した歯周炎を有する者の割合・40歳 <u>(40~49歳)以上</u>		継続	国の歯科保健計画の指標が40歳以上 に変更されたため 40歳以上として継続	53.6 %	R3年	健康づくり支 援課
304	各種疾病対策 の推進	_	進行した歯周炎を有する者の割合・50歳 (50~59歳)		削除	国の歯科保健計画の指標が40歳以上 に変更されたため 40歳以上として継続	51.2 %	R3年	健康づくり支 援課
305	各種疾病対策 の推進	_	<u>進行した歯周炎を有する者の割合・60歳(60~69歳)</u>		削除	国の歯科保健計画の指標が40歳以上 に変更されたため 40歳以上として継続	55.0 %	R3年	健康づくり支 援課
306	各種疾病対策 の推進	_	3歳児でむし歯がない者の割合が <u>8090</u> %以上である市町 村の増加		継続	指標を90%以上に変更して継続	51 市町村	R3年	健康づくり支 援課
307	各種疾病対策 の推進	_	12歳児(中1)の一人平均むし歯数が1.0歯未満である市町村 の増加		継続		50 市町村	R3年	健康づくり支 援課
308	各種疾病対策 の推進	_	高次脳機能障害支援普及事業支援拠点機関		削除	現計画で目標機関数を達成したた め、質の向上を目指すため	4 箇所	R4年度	障害者福祉推 進課
309	各種疾病対策 の推進	_	<u>地域支援ネットワークの構築に寄与する会議への参加</u>		<u>新規</u>	高次脳機能障害及びその関連障害に 対する地域支援ネットワークの構築 を目指す	0 箇所	R4年度	障害者福祉推 進課
310	各種疾病対策 の推進	_	地域リハビリテーション広域支援センターの支援機能を補完 する指定機関数		継続	現在、検討中のため未定	177 箇所	R5. 5. 31	健康づくり支 援課
	各種疾病対策 の推進	_	地域リハビリテーション広域支援センターと連携している行 政機関数 (市町村)		継続	現在、検討中のため未定	34 市町村	R3年度	健康づくり支 援課
312	各種疾病対策 の推進	_	地域リハビリテーション広域支援センターと連携している行 政機関数 (地域包括支援センター)		継続	現在、検討中のため未定	47 機関	R3年度	健康づくり支 援課
313	各種疾病対策 の推進	過程	介護予防に資する住民運営による通いの場への高齢者の参加 率		継続		3 %	R3年度	高齢者福祉課

				ロジッ			現状		
No.	分野	区分	指標	クモデ ルへの 掲載	拍	爾要(現行計画との関係)	現状値	時点	担当課
314	各種疾病対策 の推進	過程	低栄養傾向(BMI20以下)の高齢者の割合の増加の抑制		継続		15.1 %	H27年度	健康づくり支 援課
315	各種疾病対策 の推進	過程	<del>足腰に痛みのある高齢者の割合の減少(千人当たり・男性)</del>		削除	健康日本21(第三次)における指標 の削除	Д		健康づくり支 援課
316	各種疾病対策 の推進	過程	<del>足腰に痛みのある高齢者の割合の減少(千人当たり・女性)</del>		削除	健康日本21 (第三次) における指標 の削除	Д		健康づくり支 援課
317	各種疾病対策 の推進	過程	ロコモティブシンドローム (運動器症候群) を認知している 県民の割合の増加		削除	健康日本21 (第三次) における指標 の変更に伴う削除	44. 6 %	R3年度	健康づくり支 援課
318	各種疾病対策 の推進	過程	ロコモティブシンドロームの減少 (足腰に痛みのある高齢者の人数、人口千人当たり) (65歳 以上)		<u>新規</u>	健康日本21 (第三次) における指標 の変更に伴う追加	222 人	R1年度	健康づくり支 援課
319	各種疾病対策 の推進	成果	高齢者(60歳以上)の社会参加の促進(就業または何らかの 地域活動をしている高齢者の割合の増加・男性)		継続		60.1 %	R3年度	健康づくり支 援課
320	各種疾病対策 の推進	成果	高齢者(60歳以上)の社会参加の促進(就業または何らかの 地域活動をしている高齢者の割合の増加・女性)		継続		48.8 %	R3年度	健康づくり支 援課
321	人材の養成確 保	_	薬局・医療施設従事薬剤師数(人口10万対)		継続		193.4 人	R2年度	薬務課
322	人材の養成確 保	_	看護師等養成所卒業生の県内就業率		継続		63. 1 %	R5. 3	医療整備課
323	人材の養成確 保	_	看護職員の離職率		継続		13. 5 %	R3年度	医療整備課
324	総合的な健康 づくりの推進	_	健康寿命の延伸 (日常生活に制限のない期間の平均の延伸・ 男性)		継続		72.61 歳	R元年度	健康づくり支 援課
325	総合的な健康 づくりの推進	_	健康寿命の延伸(日常生活に制限のない期間の平均の延伸・ 女性)		継続		75.71 歳	R元年度	健康づくり支 援課
326	総合的な健康 づくりの推進	_	健康格差の縮小( <u>65歳の</u> 日常生活 <del>に制限のない動作が自立している</del> 期間の平均の <u>上位4分の1の</u> 市町村 <u>の平均増加分を上回る下位4分の1の市町村の平均の増加格差の縮小・男性</u> )		継続	国の健康日本21(第三次)の指標に合わせるため変更	1.74 年	R元年度	健康づくり支 援課
327	総合的な健康 づくりの推進	_	健康格差の縮小 (65歳の日常生活に制限のない動作が自立している期間の平均の上位4分の1の市町村の平均増加分を上回る下位4分の1の市町村の平均の増加格差の縮小・女性)		継続	国の健康日本21(第三次)の指標に合わせるため変更	1.42 年	R元年度	健康づくり支 援課
	保健・医療・ 福祉の連携確 保	_	1歳6か月児健診未受診者の状況把握		継続		83. 2 %	令和4年度	児童家庭課
329	保健・医療・ 福祉の連携確 保	_	3歳児健診未受診者の状況把握		継続		72.4 %	令和4年度	児童家庭課
	保健・医療・ 福祉の連携確 保	_	要保護児童対策地域協議会設置市町村数		削除	全市町村設置という目標を達成しており、今後減少することはないため	54 市町村	R5. 4月	児童家庭課
	保健・医療・ 福祉の連携確 保	_	地域包括支援センター職員等に係る研修の実施(新任者研 修、現任者研修)		継続		285 人/年	R4年度	高齢者福祉課

				ロジックモデ				現状		
No.	分野	区分	指標	ルへの 掲載	护	爾要(現行計画との関係)	現状化	直	時点	担当課
332	保健・医療・ 福祉の連携確 保	_	地域保健関係者に対する研修会の参加者数 (衛生研究所開催 分)		継続		498	人/年	R4	健康福祉政策 課
333	保 保健・医療・ 福祉の連携確 保	_	県民等に対する公開講座等の開催		継続		5		R4	健康福祉政策課
334	安全と生活を 守る環境づく り	_	健康危機対策研修修了者数		継続		12, 742	人 (累計)	令和4年度	健康福祉政策 課
335	安全と生活を 守る環境づく り	_	院内感染地域支援ネットワークの活用の向上(年間相談件 数)		継続		8	件	R4年度	医療整備課
336	安全と生活を 守る環境づく り	_	  薬事監視実施率(製造業等) 		継続		12. 8	%	R4年度	薬務課
337	安全と生活を 守る環境づく り	_	薬事監視実施率(薬局等)		継続		7. 9	%	R4年度	薬務課
338	安全と生活を 守る環境づく り	_	後発医薬品割合(数量ベース)		継続		82. 3	%	R3年度	薬務課
339	安全と生活を 守る環境づく り	_	街頭啓発活動実施回数		継続		117	<u> </u>	R4年度	薬務課
340	安全と生活を 守る環境づく り	_	麻薬取扱施設立入検査実施回数		継続		382	施設	R4年度	薬務課
341	安全と生活を 守る環境づく り	_	献血計画における目標達成率		継続		100. 1	%	R4年度	薬務課
342	安全と生活を 守る環境づく り	_	毒物劇物監視実施率		継続		18. 4	%	R4年度	薬務課
343	安全と生活を 守る環境づく り	_	食中毒罹患率(10万対罹患率)		継続		8. 4		平成28年 度から令 和4年度ま	衛生指導課
344	安全と生活を 守る環境づく り	_	食品検査件数		継続		1, 785	件/年		衛生指導課
345	安全と生活を 守る環境づく り	_	専用水道及び小規模専用水道施設の立入検査実施率 (※町村 に限る)		継続		47. 6	%	R4年度	薬務課
346	安全と生活を守る環境づくり	_	特定建築物、旅館、公衆浴場、プールの立入指導率		削除	今後、より効果的な立入方法を検討 する中で、立入指導率が生活環境改 善の指標とはならないと考えるた め。	45. 8	%	令和4年度	衛生指導課
347	各種疾病対策 の推進	_	アレルギー疾患を有する者やその家族等を対象とする研修会 参加者の理解度		<u>新規</u>	平成31年3月にアレルギー疾患対 策推進計画を策定し、目標値を設定 したことから。	98	%	R4年度	疾病対策課

		区分		ロジッ クモデ			現状		
No.	分野		指標	レイの 掲載	摘要(現行計画との関係)		現状値	時点	担当課
348	各種疾病対策 の推進	_	病院・診療所を対象としたアレルギー疾患に関する講習会への参加機関数		<u>新規</u>	平成31年3月にアレルギー疾患対 策推進計画を策定し、目標値を設定 したことから。	71 医療機関	R4年度	疾病対策課
349	各種疾病対策 の推進	_	<u>緊急時の対応について演習等を含む実践的な訓練の実施状況</u> (学校に「エピペン®を処方されている児童生徒がいる場合 は、「エピペン®」の取扱いを含む)		<u>新規</u>	平成31年3月にアレルギー疾患対 策推進計画を策定し、目標値を設定 したことから。	81.9 %	R4年度	疾病対策課
350	人材の養成確 保	_	医療施設従事薬剤師数(人口10万対)		<u>新規</u>	薬局に従事する薬剤師数は全国平均 と同程度である一方、医療施設に従 事する薬剤師数は全国平均を下回っ ており、県として目標を設定し確保 に努める必要があるため	43.9 人	R2年度	薬務課
	安全と生活を守る環境づくり	_	バイオ後続品割合(数量ベース)		<u>新規</u>	バイオ後続品は、先発バイオ医薬品とほぼ同じ有効性及び安全性を有し、安価であり、後発医薬品と同様にその普及を促進する必要があるため。	12.5 %	R3年度	薬務課